

広報

のた 2月号

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp>
E-mail soumu@vill.noda.iwate.jp

内 容

- 野田中学校野球部全国大会に挑戦…… 2～3頁
- 中村樹里さん快挙…… 4頁
- むらの話題…… 5～7頁
- 生涯学習コーナー/農業委員会だより… 8頁
- 村からのお知らせ…… 9頁
- お知らせ・情報ステーション…… 10～11頁
- 1歳になったよ 他 …… 12頁



あつちびも
こつちびも
もつちり

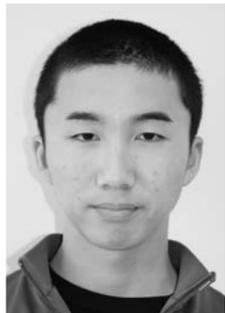
できたてのおもちを 「ぱくっ！」

野田小学校4年生の児童32人は、1年間の田んぼ体験事業を通して自らが育て、収穫したもち米で餅つき体験を行いました。

杵でついた出来たての餅はとても柔らかく、よく伸びます。



村の誇り 野田中ナイン 全国大会への意気込みを 聞く



キャプテン
藤森 晃希
ピッチャー・ショート

山村広場やライジングサンなどの施設を使わせていただけることを幸せに感じ、野球ができることに感謝しています。全国大会では、村の代表でもあり県の代表でもあります。よい結果を残せるよう頑張りたいです。村民の皆さんや先生方に恩返しができるようなプレーを見せたいと思います。



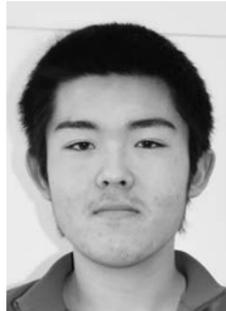
ピッチャー・ショート
上戸 飛龍

ライジングサンなどで練習させていただけると嬉しく思います。また、全国に行ける喜びがとても大きいです。私は4番バッターを任せられ、良い所でしょうかと打たなければならぬ責任があります。今まで支えていただいた人たちへの感謝の気持ちを胸に一生懸命野球をしてきたいです。



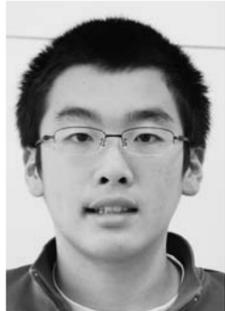
キャッチャー
伏場 侃甫

野田中野球部はみんな笑顔で楽しく、雰囲気がとても良いです。私はキャッチャーを任せられています。みんなを見渡せるポジションなのでしっかり見ながら声をかけ、まとめていけたらと思います。全国大会に出ることが出来たので、冬から自分たちの力がどれだけついたか確かめながら思いっきり楽しんできたいです。



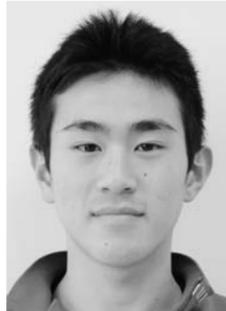
ファースト
米田 一輝

身体が大きくボールをいっぱい飛ばせることが私の持ち味です。5番バッターを任せられているので、自分の前の人が出ているとき、しっかりホームに返し得点があるよう頑張っていきたいです。村民の皆さんや先生方、父母会の皆さんの支えがあったからこそ全国大会へ出場することができていると思っています。全国制覇し感謝の気持ちを伝えたいです。



セカンド
晴山 吉貴

周りの人のことを見て行動できるところが自分の良さだと思います。キャプテンが楽になれるように行動できたらと思います。全国大会への出場が決まり、たくさんの方々に支えられているのだと分かりました。より一層練習に身が入ります。全国という舞台に舞い上がり、地に足のついたプレーで野田村の太陽になれるよう、良い報告ができるように頑張りたいです。



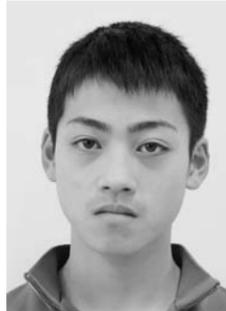
センター
松川 楓

自分の持ち味である足を活かして走力でチームの得点に貢献できるよう頑張りたいです。練習でも、みんなの雰囲気が良くなるようになるべく辛い顔を見せないように心がけています。全国大会は初めて経験する大きな舞台です。村のみなさんや先生方保護者の皆さんのおかげで全国という舞台に立てることに感謝しています。全力プレーで勝ちたいです。



ライト
廣崎 梨花

ライトを任せられ、カバーとして支える役割があると感じています。普段からピンチの時などに積極的に声かけをすることで良い雰囲気を作れるようにしています。野田中野球部のみんなは「声を出そう!」と働きかけると応えてくれます。今まで支えてくださった人たちに恩返しができるよう全国制覇で野田村の太陽になりたいです。



ライト
吉田 李玖

走塁練習がキツくてできないところもありましたが、だんだん出来るようになりました。人数が少なく実践的な練習が難しいのですが、試合をイメージして限られた中でも工夫した練習を心がけています。野田中学校のチームワークの良さはどこにも負けません。全国のみんなに野田中の良さを見つけてほしいと思います。



レフト
坂本 優斗

応援でみんなを支えていきたいです。プレーでは、キャプテン(藤森くん)みたいなプレーが目標です。練習でキツイ時には、チームのみんなが支えてくれるので、やりきることができています。みんなが試合をしやすい雰囲気をつくり勝たせたいです。練習したことしか本番では出せないと思うので、日々の練習をしっかりと取り組みたいと思います。

感謝の思いを胸に 全国の舞台へ挑戦!!

野田中学校野球部が三崎中学校との合同チームで昨年10月に行われた第7回清水隆一杯岩手県中学生新人野球大会を制したことで、3月に千葉県で開催される第16回I B A全国中学生軟式野球大会へ出場することが決定しました。岩手県からの本大会への出場は初めてという前例のないまっさらな舞台への挑戦です。同野球部は現在、部員9人。中学校のグラウンドも使えません。山村広場やライジングサンスタジアムなどを使い、少人数ながらも練習方法を工夫しながら野球に取り組みできました。取材の中で子どもたちの口から出てきた言葉は、限られた環境への嘆きや苦勞ではなく「野球ができることへの感謝」「村民を元気にしたいという思い」でした。



練習の様子 お互いを励ます威勢のいい声が体育館に響いていました



コーチ
おおいずみ 大泉利治 さん

指導者から聞く
野田中野球部を10年間指導してきた大泉利治さんに日頃の指導を通して感じていることや野球部に対する思いを聞きました。

人数が少ないので限られた練習となり、ゲームを想定した実践的な練習が足りない現状があります。しかし、元氣よく明るく楽しく取り組むことを目標とし、やらされる練習ではなく、子どもたち自身が良い雰囲気をつくりながら練習に励み、頑張っています。野田中学校も三崎中学校も少人数のチームですが、一人一人が努力して頑張れば野球の神様がご褒美をくれるのではないかと夢を抱いています。私もチームの力になれるよう子どもたちと共に頑張りたいと思います。

夢を応援しよう!

全国大会での目標を聞いたところ全員が「全国制覇」と話してくれました。村のためにと頑張るナイン。みんなで夢を応援しましょう!



エンゼル祝金および出産祝品贈呈式

祝金と木製玩具で子育て応援

12月25日と1月29日にエンゼル祝金と出産祝品の贈呈式が行われ、たくさんのおともたちの誕生を祝いました。

エンゼル祝金は第3子以上を出産した人に対し祝金を贈呈するもので、お母さんたちからは赤ちゃんや子どもたちの日用品や衣類代として活用するの声も多く子育て家庭を支援する事業として役立てられています。

出産祝品である木製パズルは、購入となると高価なものも多いため、村からのプレゼントに「欲しかった」「小さい兄弟にも遊ばせたい」などの喜びの声もいただいています。パズルは口に入れても問題のない加工を施しているため安心して遊ばせることができます。

- ▷上段写真 第4子小野寺結那ちゃんを出産した里美さんとお姉ちゃんになった柚華ちゃん
- ▷下段写真 写真左から▷第3子小野紘睦くんが誕生した小野さん家族 ▷水上えみりちゃんが誕生した水上さん家族 ▷中野遥真くんが誕生した中野さん家族 ▷古館寛舵くんが誕生した古館さん家族



野田村「食」産業再生プロジェクト

野田村「食」ブランド認証式

1月21日、国民宿舎えびし荘で野田村「食」ブランド認証式が行われました。本プロジェクトは全国商工会連合会の小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業を活用して平成24年度から3年にわたり取り組まれ、村自慢の産品を開発し「野田村ブランド」として全国・世界へ発信しようとして進められてきました。今回は、食を中心として6つの商品が認証されました。今後はマリノローズを活かしたアクセサリの開発などに期待が高まります。



今回認証を受けた商品(写真左から)野田塩、南部福来豚炙り丼、福来豚ハンバーグ、のだ焼、福来豚焼売・ホタテ焼売、福来豚餃子

110番の日

見て触れて学んだよ！

1月9日に野田村保育所で“110番の日”警察イベントが催されました。久慈警察署の山根誠野田駐在所長が保育所を訪問し、110番のかけ方や警察の仕事について教えたほか、本物の制服や手錠、警棒、手帳などの装備品を持参し紹介しました。

子どもたちは初めて間近で見ると様々な道具やパトカーに目を輝かせ、制服に腕を通したり道具を手にとってみるなど貴重な体験をすることができました。



みんなで敬礼！夢は警察官かな？



大崎教育長に入賞を報告する中村さん

選んだ本は母親から薦められたという中村さんは、日頃から本に親しんでいるそうです。今回読んだ作品を通して彦蔵の人柄や生き方を見習い、自分も世界で活躍したいと話してくれました。

もしも、私の故郷が無くなったら。故郷が離れていってしまったら。私達人間にとって故郷とは、ただの出身地というだけではなく、かけがえのない大切な存在である。それを失ってしまったら、私達は何を支えに生きていけばよいのだろうか。

時代は江戸末期。彦蔵達の乗った廻船は嵐に遭い、破船した。彼は二ヶ月間の漂流の末、アメリカ船に発見、救助されたものの、鎖国政策をとる祖国日本に帰ることは叶わなかった。新天地アメリカで職を得て、人脈を広げていった彦蔵だが、故郷を忘れることはできなかった。異国の地で十年近く暮らしても、自分が生まれ育った土地はやはり特別なのである。彼は日本への遠すぎる道のりを嘆き、悲しんだ。

私にはいつでも、故郷がそばにある。普段意識することも少ないが、今私が立つ大地が、胸一杯吸う空気が、私の故郷そのものなのだ。私の故郷野田村は、三年前のあの日、黒い波に飲まれ、その姿は一変した。村の誇りだった青く美しい海は、尊い命を、愛着のある家を、大切な思い出の品さえも一瞬で奪い去っていった。傷つき変わり果てた故郷の姿に、私達は言葉を失い、涙を流すばかりだった。暗い夜が来る度に、底知れない不安に襲われ、未来への光を見いだせなかったことを思い出す。それでも、野田村は歩みを止めることはなかった。それは、負けてはいられないと立ち上がり、動き出した大人達がいたからだ。そして、それを支えた故郷を想う人々がいたからだ。村内外の多くの人の「故郷への想い」を受けて、野田村は復興へ向けて前進し続けている。そこには、人と人との繋がりがあった。

沢山の外国人と出会い、親交を深めた彦蔵は、やがて米国に帰化し、通訳として祖国に帰国することになる。しかし、彦蔵が日々願っていた、ようやく帰ることができた地は、もはや故郷とは呼べないものだった。祖国は大きく様変わりし、攘夷派による暗殺が横行する異常な世界であった。そして、アメリカ人のような外見となった彼を歓迎する雰囲気はそこにはなく、まるで奇異なものを見るかのような視線が向けられた。十年という年月は、故郷とそこに生まれ一人の人間を遠く隔ててしまっ

たのだ。胸に抱き続けた郷愁を打ち砕かれた彦蔵を思うと、悔しくやるせない気持ちに襲われた。自分にとって特別だった故郷の変わり果てた姿を目の当たりにした彼は、悲しみに打ち拉がれ、こうつぶやいた。「自分に故郷はないのだ。」

未来への扉を開く
野田村立野田中学校
三年 中村 樹里

私は二ヶ月間の漂流の末、アメリカ船に発見、救助されたものの、鎖国政策をとる祖国日本に帰ることは叶わなかった。新天地アメリカで職を得て、人脈を広げていった彦蔵だが、故郷を忘れることはできなかった。異国の地で十年近く暮らしても、自分が生まれ育った土地はやはり特別なのである。彼は日本への遠すぎる道のりを嘆き、悲しんだ。

彼の感じた悲しみや辛さは、私には分からない。いや、そんな思いはこれからもしたくない。私の愛する野田村は、いつまでも変わらず、自分を包んでいてほしい。だから私は、今この地に生きる人々との繋がりを大切に、人と人との和を築いていきたい。それが、深く傷ついた故郷の復興・再生の原動力となると信じているからだ。

私達の学校では今、「野田村の太陽になろう」を合言葉に、学校と村との繋がりを深めようと活動している。お年寄りとの交流会を設けたり、地域のイベントで野田中ソーランや創作太鼓の演奏を披露したりしている。中学生の自分達にできることを考え、取り組んでいるのだ。その活動は、今や、野田中学校の新たな伝統になりつつある。最初は被災した村やそこから立ち上がろうとする大人達を元気づけようとしたものだった。それから三年余りが経ち、私達は村の未来を考え、自分の将来を見つめるようになった。十年後二十

年後の野田村は、私達に託されているのだ。現代では生まれ育った地を離れて生活する人も多い。そうした人達が彦蔵のように帰りたいと思つた時、いつでも温かく迎えてくれる故郷を失ってはならないと思う。私の目は今、海の向こうへの世界へと向いている。わずか十三歳にして漂流、そして異国での生活という過酷な体験をした彦蔵は、その後日本の開国に大きな役割を果たした。私も彼のように世界の発展に貢献できる人になりたい。医療を通して、生まれた地域や人種、民族等の壁を乗り越え、この世界に生まれた全ての人々が平等に、心安らかに生きられる社会を作りたいと思う。今世界を変えようとしている人々の背中に学び、それを道標として歩むことが目標である。

快挙！読書感想文
中村樹里さん 全国図書館協議会長賞
第60回青少年読書感想文コンクール(全国学校図書館協議会、毎日新聞社主催)で野田中学校3学年中村樹里さんが全国3位という素晴らしい成績を収めました。今回、入賞した感想文全文を紹介いたします。

私達の学校では今、「野田村の太陽になろう」を合言葉に、学校と村との繋がりを深めようと活動している。お年寄りとの交流会を設けたり、地域のイベントで野田中ソーランや創作太鼓の演奏を披露したりしている。中学生の自分達にできることを考え、取り組んでいるのだ。その活動は、今や、野田中学校の新たな伝統になりつつある。最初は被災した村やそこから立ち上がろうとする大人達を元気づけようとしたものだった。それから三年余りが経ち、私達は村の未来を考え、自分の将来を見つめるようになった。十年後二十

彦蔵は、人に愛され信頼される力と、決して諦めず自分自身で生き抜く力を持っていた。私は彼を心から尊敬する。苛烈ともいえる状況の中で、自分の未来を見いだし、精一杯生きようとする姿勢に心を打たれた。彦蔵のような人物がいたからこそ、日本は、重く錆びついた時代の扉を開けることができたのだと思う。私も彼のように強く、しなやかに生き抜きたい。将来、どこでどのように生きるようになるうとも、彦蔵の姿を忘れない。

彦蔵は、人に愛され信頼される力と、決して諦めず自分自身で生き抜く力を持っていた。私は彼を心から尊敬する。苛烈ともいえる状況の中で、自分の未来を見いだし、精一杯生きようとする姿勢に心を打たれた。彦蔵のような人物がいたからこそ、日本は、重く錆びついた時代の扉を開けることができたのだと思う。私も彼のように強く、しなやかに生き抜きたい。将来、どこでどのように生きるようになるうとも、彦蔵の姿を忘れない。

ありがとう

野田村を応援してくれる
人たちがいます

岡崎市の住民から寄付金

1月23日、愛知県岡崎市で駐在所勤務をしていた村出身の日當郁夫さんが岡崎市の皆さんからの寄付金を届けてくださいました。

日當さんは、岡崎市の皆さんと村を繋ぐ懸け橋として何度も村を訪れ寄付金や子どもたちへのプレゼントを届けてくださっています。



副村長へ寄付金を手渡す日當さん

積み木のプレゼント

震災以降交流のある宮崎県木材青壮年会連合会（中井英治会長）から村内保育所に「からからつみき」（800枚×6セット）が贈られました。積み木は100%自然木の宮崎県産の杉が使用されとても軽く柔らかい触り心地です。

2月2日に行われた贈呈式では、「たくさん積み木をありがとうございます。みんなで仲良く遊びます」と子どもたちからお礼のことばがありました。



大量の積み木におおはしゃぎ！

村民広場で街頭啓発活動

野田中学校生徒が一日人権擁護委員

全国中学校人権作文コンテスト岩手県大会で優秀賞を受賞した、野田中学校3学年中村佳乃さんと同中村美結さんが一日人権擁護委員として街頭啓発活動に取り組みました。

活動は1月15日に行われ、小正月行事に集まった人たちに優しく声をかけながらボールペンなどの人権啓発物品を配布し人権の大切さを呼びかけました。



笑顔で啓発活動に励む中村佳乃さん(写真左)と中村美結さん(同右)

多年にわたる身体障がい者の自立更生に尽力

川畑正繁さん厚生労働大臣表彰

野田村身体障害者協議会監事の川畑正繁さん（85歳、下明内）が、永年の地域福祉向上に対する功績が認められ厚生労働大臣表彰を受けました。川畑さんは平成元年から25年以上にわたり同協議会の理事や副会長、監事などを務めてきました。

12月25日に行われた伝達式では「協議会は会員が減ってきているという課題があるが、上下左右が分かるうちは協力していきたい」と活動への思いを述べました。



小田祐土村長から伝達を受ける川畑さん

新教育委員就任

新たな教育委員に長峯幸恵さん

1月16日付けで長峯幸恵さん（北区）が新たに教育委員に任命されました。長峯さんは、野田小学校や地元高等学校での教育職経験があるほか、30年以上村内保育所に勤められ、長年にわたり子どもたちの成長や教育に携わってこられました。

任期満了により退任された大平マユミさんには3期9年10カ月にわたりご尽力いただきました。



任命を受けた長峯さん

家内安全・無病息災を祈願

静かな街になもみの唸りが響く



あまりの怖さに鬼のような形相でしがみつきます

1月15日の小正月、なもみ保存会（小野寺勝会長）は鬼の姿に成り代わり村内約25戸を回りました。なもみが唸りながら「悪いわらしはいねえが〜」と戒めて歩くと、子どもたちは泣き叫びながら「いい子にします」と誓いました。

天候に恵まれ小正月行事開催

五穀豊穡 無病息災を祈る

野田村むらづくり運動推進協議会（前田公司会長）が主催する小正月行事が1月15日に行われました。風のない穏やかな天候の中で開催された行事では、どんと焼きやだんごしば作り、つきたての餅や甘酒の振る舞いがあったほか、大黒舞やなもみ太鼓の披露がありました。

枝の赤い色が美しいミズキへの飾りつけは、老人クラブの会員らが子どもたちに教えながら行われ、最近では少なくなった世代を越えた交流の機会にもなりました。



団子を分け合いながら協力して飾り付け

飲酒運転追放契約書を提出

新成人が飲酒運転追放の誓い

1月13日に久慈警察署（澤田徳伸署長）で広内誉さん（中平）が村の新成人を代表し飲酒運転追放契約書を提出しました。

契約書は1月11日に開催された成人式で署名を呼び掛け集めたもので、57人分の署名が集まりました。

広内さんは「二十歳になり、これからは自分で責任を取らなければならない。安易な気持ちで飲酒運転をすることのないように気を引き締めたい」と決意を述べました。



新成人57人の決意を提出



宝くじ助成金で面を購入

一般財団法人自治総合センターの助成事業は、地域の連帯感に基づく自治意識の高揚を目的に、コミュニティ活動に直接必要な設備などの整備に対して行われるもので、なもみ保存会では助成金100万円を活用し面を15個購入しました。



住民福祉課だより

平成27年2月20日
住民福祉課 保健福祉班
☎ 78・2927



重いごみが重い負担に…

1. ごみ処理にかかる負担金4,800万円！

村では、ごみを処理する費用として「塵芥(じんがい)処理負担金」を久慈広域連合に納めています。今年度はおおよそ4,800万円の見込みです(ごみ処理施設の維持管理運営費を含む)。

2. ごみを軽くすることで負担金も軽く

負担金の額はごみの重さによって決まります。日常的に出されるごみで比較的重いのが「生ごみ」です。水分を十分に切って出すことでかなりの重量を減らすことができますのでご協力をお願いします。また、村および村衛生班連合会で斡旋している生ごみ処理機の活用で生ごみそのものの排出も抑えることができますので、ぜひご活用ください。

3. 不法投棄ごみも村民の負担に

村内に不法投棄されたごみも村のごみとして処理されています。不法投棄されたごみは、雨などの水分を含み付着物があるため、一般のごみより重いのが特徴で負担金の額に大きく影響します。

環境保全や不法投棄ごみ根絶のため定期的なパトロールを続けていますが、一向に不法投棄が後を絶たない状況です。

美しい村を保ち、不法投棄をさせない環境をつくっていきましょう！



村で設置した不法投棄防止看板が折り曲げられていました

城内地区高台団地見学会 および 災害公営住宅内覧会

先月完成した城内地区高台団地と現在建設中の災害公営住宅の見学会を開催します。

日時：3月15日(日) 午前10時～午後2時 ※開催時間内であればいつでもご覧いただけます。

場所：城内地区高台団地

土地区画整理事業地内の災害公営住宅建設地

対象者：全村民

※事前申込不要

■問い合わせ

復興むらづくり推進課

☎ 78・2915



城内地区高台団地



土地区画整理事業地区災害公営住宅

災害義援金の受入状況

村にいただいた義援金についてお知らせします。皆さまからの温かいご支援、ありがとうございます。

受入期間	1月1日～31日
受入件数、金額	5件 358,097円
受入総件数、金額	1,288件 106,683,479円



お知らせ掲示板

野田村考古学フォーラムⅡ ～中世の野田村を考える～

野田村などで発掘調査が行われた伏津館、宇部館などの中世城館の報告と中世野田氏に関する講演会を開催します。入場は無料ですので、ぜひお越しください。

日時 3月14日(土) 9:30～12:00
会場 生涯学習センター 多目的ホール
問い合わせ

村教育委員会事務局
生涯学習文化スポーツ班
埋蔵文化財担当
☎ 78-2936(内線455)

..おはなし会..
3月21日(土) 午後2時から
場所：村図書館児童室



優勝した城内上チーム。勝因は勝ちなしの男子を引っ張った女性のチカラ？

悠YOUスポーツクラブ充実の2日間 スケート・海の科学教室

1月7日～8日、悠YOUスポーツクラブ「スケート・海の科学教室」が開催され、村内の小学生5人が参加しました。

初日は二戸市にある県北青少年の家でスケートを体験し、2日目は八戸市水産科学館マリエントで海の生物の実験やクイズ、エサやりなどに取り組みました。スケート体験では初めて挑戦する児童もいましたが、講師から立ち方や足の動かし方など、基礎的な部分の指導を受け、全員が自由に滑れるようになりました。



東京オリンピックも夢じゃない!?

第10回どこでもテニポン大会

今年度の村民体育大会5種目となるテニポン大会が1月21日、23日の二日間にわたり村体育館で開催されました。大会では幅広い年齢層での熱い闘いが繰り広げられました。

▼大会結果▼
1位 城内上 2位 米田・南浜 3位 城内中

農業委員会だより

農地情報公表システムがスタート

農地法の改正により、農業委員会で農地情報を公表することが義務付けられました。全国農業会議所では農地情報の公表事務を支援するため、平成27年4月から、インターネットによる「農地情報公表システム」を運用します。

誰もがインターネットを使って農地の所在や貸付の意向などの基本情報(※)を見ることができるようになり、農地を借りたい人などは、インターネットで確認して農業委員会などに照会することができます。

農業委員会の窓口では、農地を特定して閲覧申請をすれば、所有者や耕作者の氏名も含めた情報を「閲覧」できます。※インターネットで公表されるのは、農地の所在や面積などです。所有者や耕作者の氏名は公表されません。

■問い合わせ

野田村農業委員会 ☎ 78・2934
岩手県農業会議 ☎ 019・626・8545

《インターネット公表イメージ》



インターネットの地図(航空写真)上の農地に●(中心点)が表示されます。●を選択すると所在地などの情報が表示されます。

農地情報の活用で農業活性化

戸籍の窓口

(1月受付分※敬称略)



♡いつまでもお幸せに

(野崎直道 北 区
中野尋子 久慈市)

■ご冥福を祈ります

小谷地 マツノ (89) 港
外館 サヨ (88) 米田

人の動き

男 2,173 人 (+3)
女 2,320 人 (-5)
計 4,493 人 (-2)
世帯数 1,651 世帯 (+3)
(人口、世帯数は外国人を含む)

- 村内の交通事故 人身事故 0件
物損事故 4件
- 救急車出動件数 17件
(うち村外 7件)
- 飲酒運転検挙者数 0人

駐在所だより

☆反射材着用で交通事故防止

夜間外出時、交通事故から身を守るため最も有効なのが、**反射材の着用**です。

反射材は、数百メートルも手前からライトを反射させるため、早い段階で運転者に歩行者の存在を知らせることができます。交通ルールを守ることはもちろんのこと、反射材も着用して、交通事故防止に努めましょう。

野田駐在所長 山根 誠 ☎78・2161



ホッとひととき

1月には雪かきをするくらい雪が降りましたが、昨年に比べると今年は本当に雪が少なく過ぎやすいですね。これからドカッと降らなければいいですが…。さて、生涯学習大会には村出身のお笑い芸人123☆45(イズミヨコ)さんが来てくれました。村のことを題材にしたネタも披露してくれ、会場は笑いに包まれました。写真などは来月号で紹介いたします。お楽しみに☆



交通指導員募集

村では交通事故から大切な命を守るため、交通指導員を募集しています。

主な仕事は、週1～2回朝7時頃から1時間程度、通学路での交通指導を行っていただく他、各種行事やイベント時の交通誘導などもお願いしています。

普通運転免許を持った村内在住の20歳以上の人であれば、性別は問いません。

子どもたちや高齢者を悲惨な交通事故から守るため、あなたの力を貸してください。任期は平成27年4月から2年間で、

■問い合わせ

村住民福祉課 ☎78・2928

村営住宅入居者を募集します

村営住宅入居者を募集します。

1 公募する住宅

新山住宅A-2

野田村大字野田第36地割149番地1

木造平屋1戸建 72.25㎡

(和室6畳、洋室、ダイニングキッチン、リビング、ユニットバス、水洗トイレ)

2 家賃月額 17,400円～25,900円

3 入居資格

(1)同居者(その予定)があること

(2)国税・地方税を滞納していないこと

(3)暴力団関係者でないこと

(4)別に定める収入基準※に該当すること

4 申込締切 3月6日(金)

5 入居開始 4月1日(予定)

6 その他

(1)多数の申込者がある場合は、抽選により決定します。

(2)現地見学を希望する人は、対応いたしますのでご連絡ください。

※別に定める収入基準：収入月額〔(世帯の所得合計－各種控除額)÷12ヵ月〕が158,000円(条件により214,000円)以下であること。

■申し込み・問い合わせ

村地域整備課 ☎78・2933

新卒者ふるさと雇用支援奨励金

新卒者の雇用拡大と地元への定着を目的に、新卒者を採用し2年間継続して雇用した事業者には奨励金を交付します。

早期内定をした場合、最大72万円、その他の場合48万円以内を交付します。

■交付条件

・新卒者を村内にある事業者で常用雇用者として2年雇用すること

・事業完了までの採用期間中、新卒者は村内に住所を有すること

・事業主や事務所の取締役、監査役の二等親以内の親族は対象外

・原則、新卒者を採用した前後6ヵ月以内に、特別な理由なく、他の常用雇用者を事業者の都合により解雇していないこと

・採用にあたり、国、県、村からほかの補助金を受けていないこと

・申請時点で村税の滞納がないこと

■問い合わせ

村産業振興課 ☎78・2926

農業者年金

農業者の安心で豊かな老後に備える“農業者年金”。国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の農業者ならだれでも加入できます。農業経営者本人のほか、配偶者や後継者など家族一人ひとりについて加入することで老後に備えることができます。

■農業者年金の特徴

・積み立て型の年金で、少子高齢化に強く安定した年金

・保険料額は月額2万円から自由に決定

・生涯受け取れる(80歳までの保証付き)

・社会保険料控除が受けられる

・一定の要件を満たす農業の担い手には保険料の国庫補助がある

■問い合わせ

村農業委員会事務局 ☎78・2934

農業者年金基金 ☎03・3502・3942

東日本大震災津波 岩手県・野田村合同追悼式

東日本大震災から4年を迎え、犠牲者に哀悼の意を捧げ、村の早期復興に向けた誓いを新たにすため、県と合同で追悼式を開催します。

来賓の方の車両が大幅に増えますので、参列の際は乗り合わせや徒歩でのご来場にご協力ください。

日時 3月11日(水) 午後2時30分～

場所 村体育館

■問い合わせ

村総務課 ☎78・2111

建築物防災週間

3月1日(日)～7日(土)まで、建築物防災週間を実施します。地震、火災、がけ崩れなど各種災害による人命および建築物の被害を防止し安心して生活できる空間を確保するため、建築物の防災対策を推進することが目的です。

県では、万が一災害が発生した場合、著しい被害が発生する恐れのある建築物を中心に、市町村や消防などと共同で防災査察を実施し、安全管理の状況をチェックし、必要に応じた指導を行います。

この週間中、防災相談所を設置し、建築に関する地震対策の他、火災やがけなどの建築物の防災に関する皆さまのご相談にお答えしますのでぜひご利用ください。

■防災相談所

県北広域振興局土木部

☎0194・53・4990

スポーツ安全保険の加入

3月2日(月)から平成27年度の加入受け付けが始まります。

平成27年度スポーツ安全保険は、昨年度からの掛金、補償内容などの改定はありません。内容を確認の上、加入手続きをお願いします。

■問い合わせ

村教育委員会生涯スポーツ班

☎78・2936

無料相談ダイヤル

一般社団法人社会的包摂サポートセンターでは、誰でもどんな悩みでも無料で相談できる電話を設置しています。24時間休みなしで、秘密は厳守いたします。

■問い合わせ

よりそいホットライン

☎0120・279・226

登記相談は予約をしてから

盛岡地方法務局および県内各支局・出張所では、平成27年2月2日から、不動産、商業・法人登記に関する相談を希望する人が円滑に相談できるよう、登記相談を予約制にしました。予約は、下記の電話または登記申請窓口でお申し込みください。

★盛岡地方法務局登記部門(本局)

☎019・924・9851

★二戸支局

☎0195・25・4811

岩手県立杜陵高等学校 通信制宮古分室生徒募集

県立杜陵高校の通信制は、自宅での学習と月2、3回の日曜スクーリング(面接指導)で高校を卒業できます。文化祭、運動会、修学旅行などの特別活動もあります。特定科目のみの受講も可能です。願書受付期間 3月4日(水)～30日(月) 願書請求・問い合わせ 杜陵高校通信制宮古分室

〒027・0052

宮古市宮町二丁目1番1号 宮古高校内

☎0193・63・7428

陸上自衛隊音楽隊定期演奏会

陸上自衛隊岩手駐屯地では「第29回陸上自衛隊岩手駐屯地音楽隊定期演奏会」を開催します。音楽演奏会を通じて皆さまと交流を図る良い機会と考えていますので、ぜひお越しください。

時間 3月14日(土) 開場 午後2時15分
開演 午後3時00分

場所

盛岡市民文化ホール(マリオス)大ホール

入場料 入場無料

※先着入場で満員になり次第終了

問い合わせ

陸上自衛隊岩手駐屯地 司令業務室

☎019・688・4311

春の全国火災予防運動 ～もういいかい火を消すまでは まだだよ～

春季火災予防運動が全国一斉に実施され、村では下記のとおり取り組みます。住宅用火災警報器の設置状況調査を全世帯対象に行いますので、ご協力をお願いします。

日時 3月1日(日)～7日(土)までの1週間

実施事項 防火パレード、事業所の立入検査、一般家庭予防査察、住宅用火災警報器設置調査、初期消火訓練

問い合わせ 久慈消防署野田分署 ☎0194・78・2119



年金情報

お得な付加保険料

国民年金保険料を納めた期間と保険料の納付を免除された期間の合計が300月(25年)以上ある人は、65歳から老齢基礎年金が支給されます。

年金額を少しでも多く受給したい人は、国民年金保険料とあわせて付加保険料(月額400円)を納付すると、付加年金が老齢基礎年金に加算されます。付加年金は、200円に付加保険料の納付月数を乗じた額が支給され2年でモトが取れるお得な制度です。

ただし、厚生年金加入者やその配偶者、国民年金基金加入者は付加保険料を納めることができません。

■問い合わせ

二戸年金事務所 ☎0195・23・4111

村住民福祉課 ☎78・2928



国保情報

医療費通知

村では2ヵ月ごとに、国保に加入している人の医療機関などの受診状況をお知らせしています。お知らせが届いたら、受診月や通院日数など記載されている内容に間違いがないか確かめてみましょう。

診療時間外の受診や同じ病気でいくつもの医療機関を受診することを控えることで医療費を節減できます。

受診状況を確認し、受診の仕方について考えてみる機会としませんか。

■問い合わせ

村住民福祉課 ☎78・2928

立春

季節の変わり目の邪気に負けないで 今日を生き抜きましょう!!

お待ちしております

Beauty Salon
セキモト

九戸郡野田村大字野田28-12-7
TEL 0194-78-2475

この道60余年 (有) 櫻庭石材店

戒名入れ、墓所工事一式、記念碑など

※従業員募集※

18才～55才(要、普通(中型)自動車免許)

定員1～2名(詳しくは、面接にて)

野田村新山33-11-5 TEL/FAX 0194-78-3164(自宅兼事務所)

TEL 0194-78-2402(会社工場)

復興元気に
営業中!

1歳になったよ! 2月生まれ



北区

野田勝浩さん、美香さん
の だ えみり
長女 野田 笑莉ちゃん

お父さん、お母さんから
いつも笑顔の笑莉。これからもたくさん笑って
たくさん泣いて大きくなっていくね!!

林崎舞海ちゃん



三陸鉄道 お絵かき列車表彰式

1月15日に行われた小正月行事では、保育所入所児童が三陸鉄道の絵を書いた「お絵かき列車」の表彰式が行われました。式では、野田村長賞を受賞した日向保育所の林崎舞海ちゃんが村長から表彰状を受け取りました。



舞海ちゃんが書いた三陸鉄道の絵

友好市町村だより

新校舎に移転し新学期がスタート ～様似中学校新校舎入校式～

様似中学校が、旧様似高等学校校舎に移転し、3学期が始まる1月13日(火)に新校舎入校式が行われました。

様中旧校舎は、耐震化に対応しておらず、町は、平成26年3月に閉校した耐震化済みの様高校舎を北海道から譲渡してもらい、様中新校舎として使用することにしていました。

移転に伴い、校舎等の改修工事が、昨年5月から11月まで6カ月かけて行われ、学校の引っ越しは、12月下旬に完了。

教職員や部活動などを行う生徒は、冬休み中から新校舎を使用していましたが、入校式を期に、全員そろっての新しい学校生活が始まりました。



新校舎に3学期の初登校をする中学生



みんなの声

イラストコーナー

カラフルなイラストが集まりました!今年度もあとわずか。来月は一年間の思い出を書いたイラストを募集します(^v^)

広報クイズ

3色だんごが5人に当たる!

Q 村の小正月に現れるこわあ〜い鬼は?

- ①なのみ ②なもみ ③もなみ

ハガキに答えやイラストを書いて総務課広報クイズ担当まで送ってください!

(3月6日必着)

〒028-8201 野田村大字野田20-14

★先月号の答え ①新町

★先月号の当選者

岩山愛未ちゃん、小野寺花梨ちゃん、坂本心海ちゃん おめでとう(^o^)/